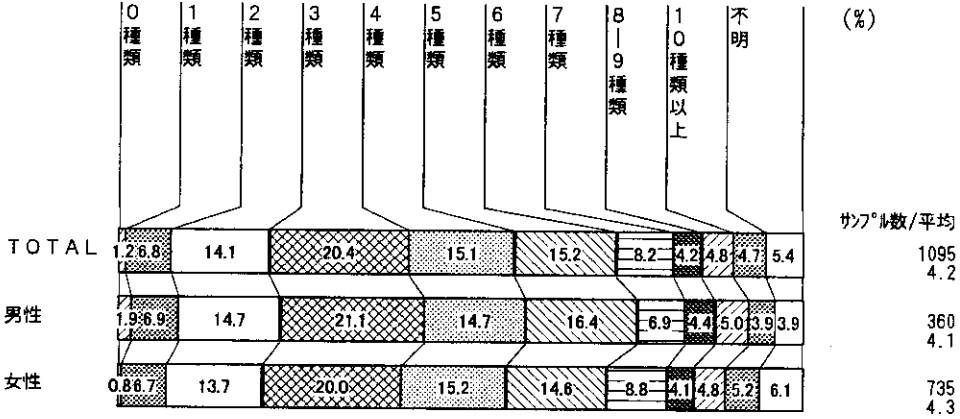
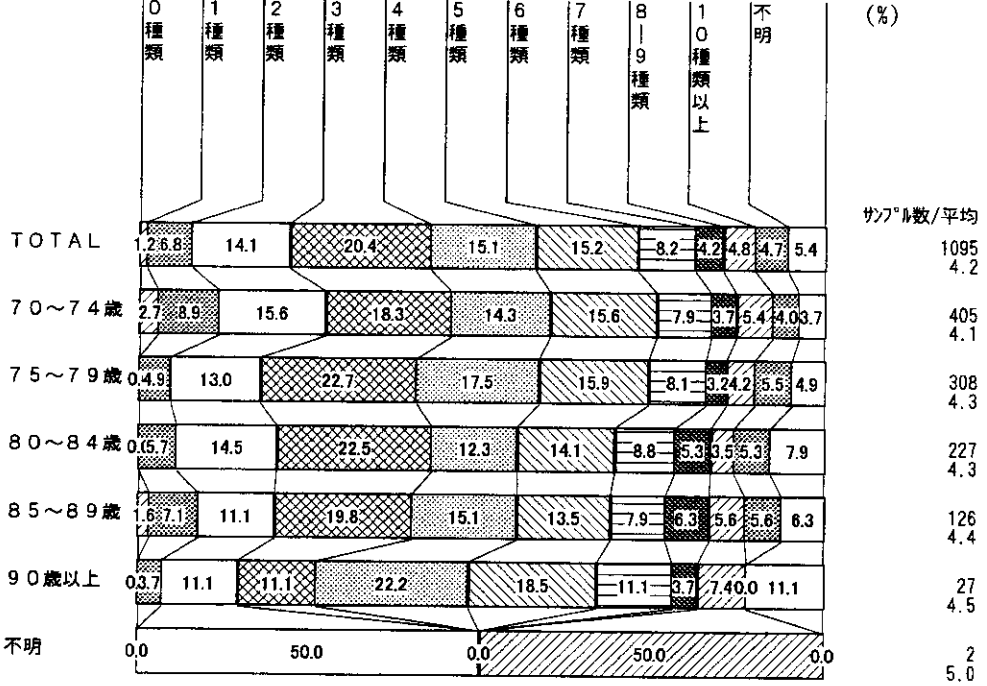


現在出ている薬の種類は、女性の方が多少多く、年齢層が高いほど種類も多くなる。

表頭：問4薬の種類 現在出ている薬：全種類
表側：問1_1 高齢者性別

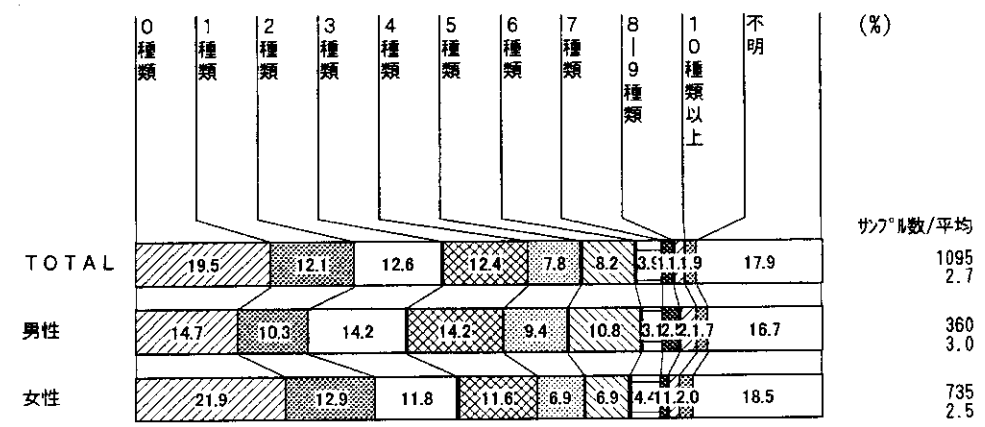


表頭：問4薬の種類 現在出ている薬：全種類
表側：*問1_2 高齢者年齢

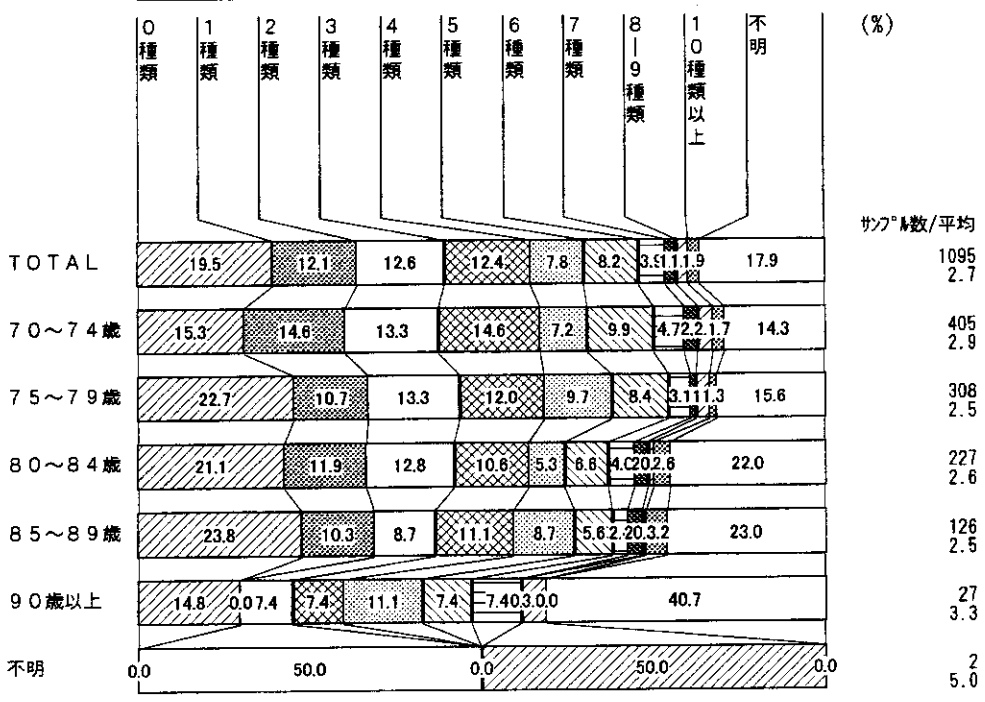


現在出ている薬の名前は、男性の方がよく覚えている。また、年齢層が高くなるにつれ、名前を1つも覚えていない人が多い傾向がある。

表頭：問4薬の種類 現在出ている薬：名前認識
表側：問1_1 高齢者性別

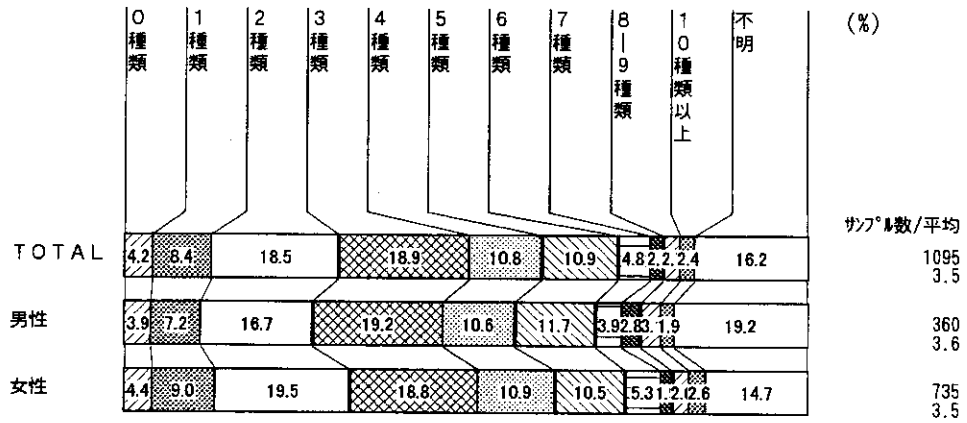


表頭：問4薬の種類 現在出ている薬：名前認識
表側：*問1_2 高齢者年齢

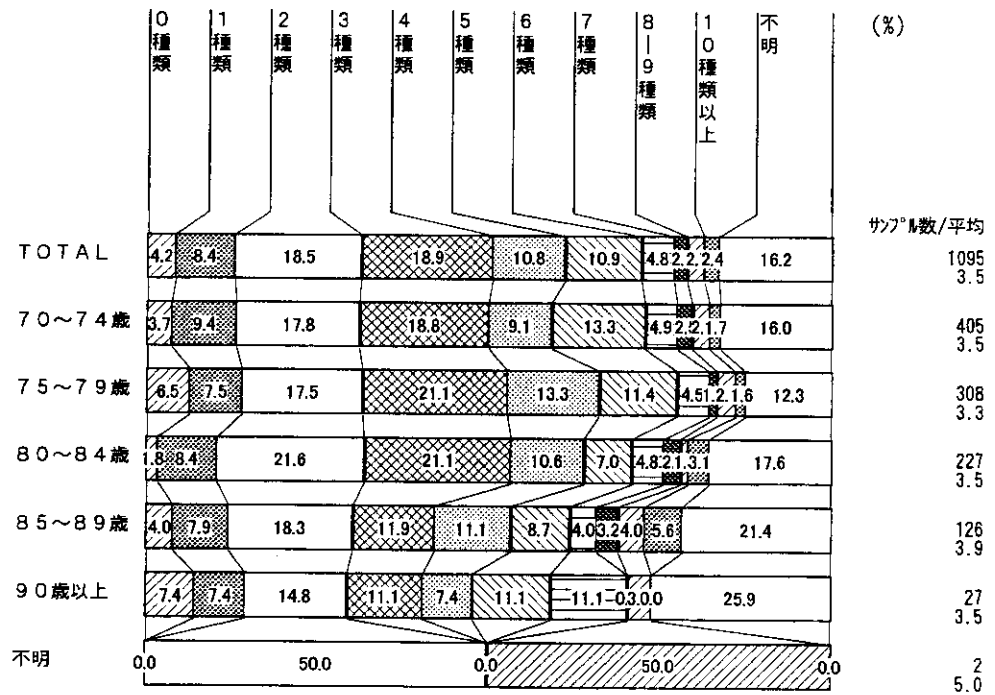


現在出ている薬の効能については、名前よりもよく覚えている。性別・年齢問わず、3.3～3.9種類という結果であった。

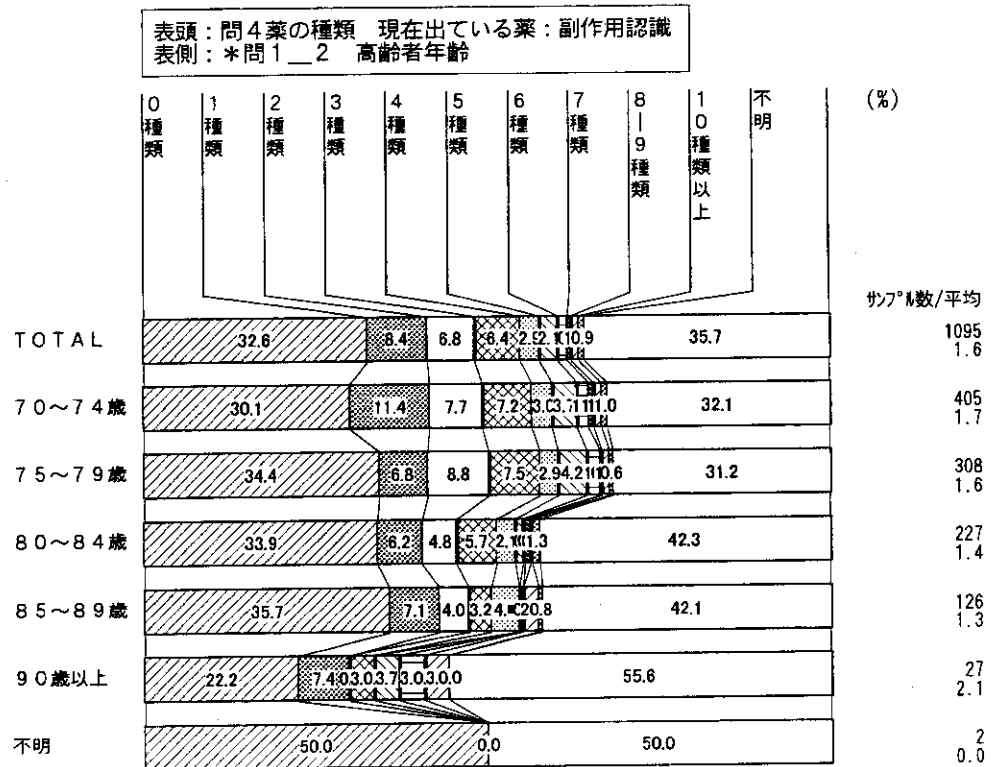
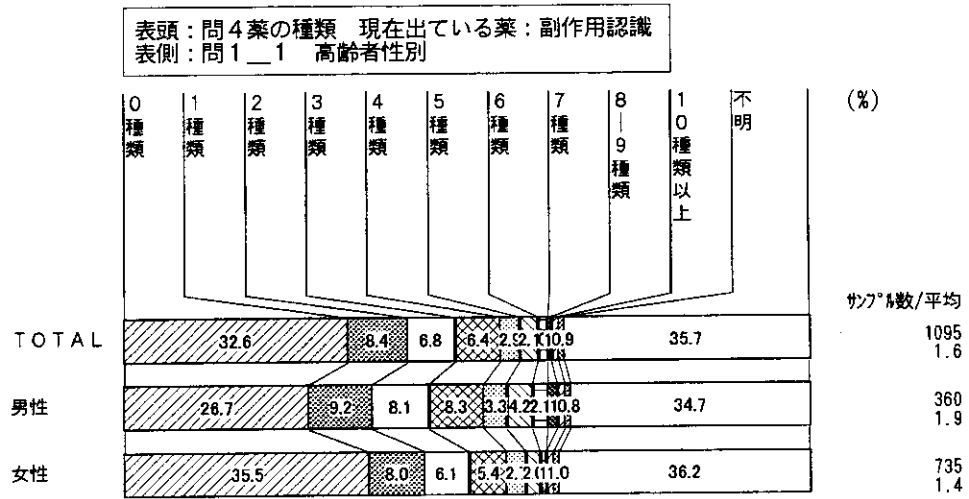
表頭：問4薬の種類 現在出ている薬：効能認識
表側：問1_1 高齢者性別



表頭：問4薬の種類 現在出ている薬：効能認識
表側：*問1_2 高齢者年齢

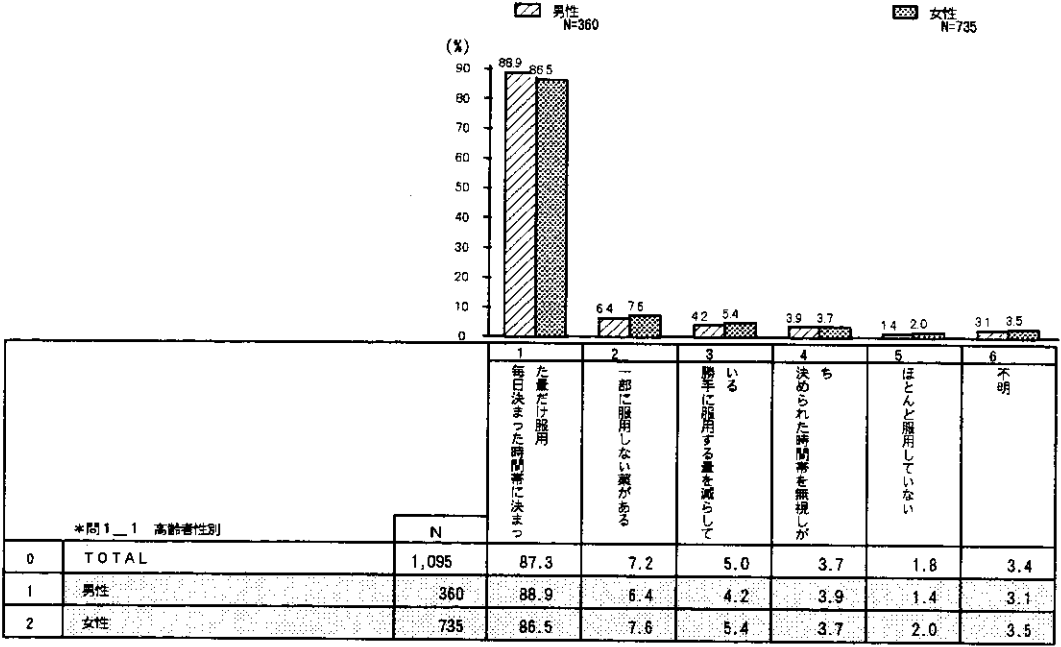


現在出ている薬の副作用に関しては、ほとんど無関心である。特に女性は不明の回答を除くと半分以上が覚えていない。年齢別でも覚えていないケースが多く、平均は1～2種類程度である。

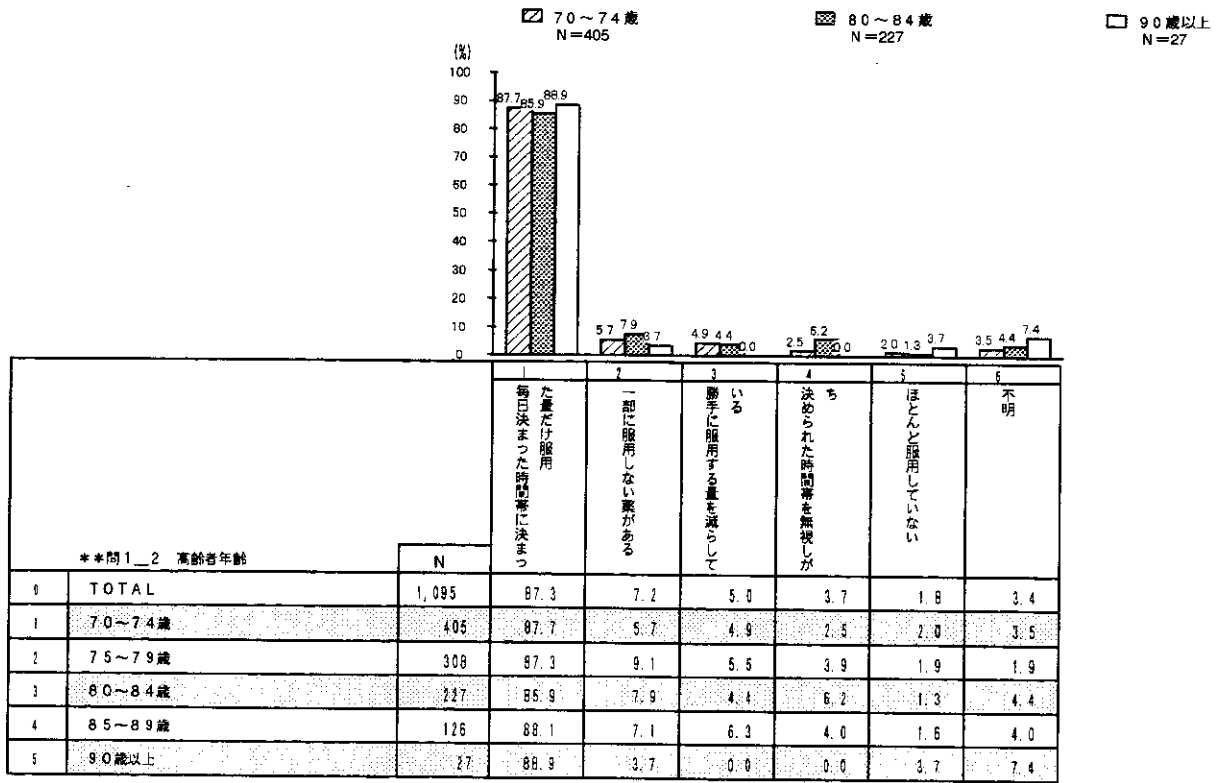


薬の服用は、毎日決まった時間帯に決まった量だけ服用していると回答している人がほとんどで、性別・年齢別では差があまりない。

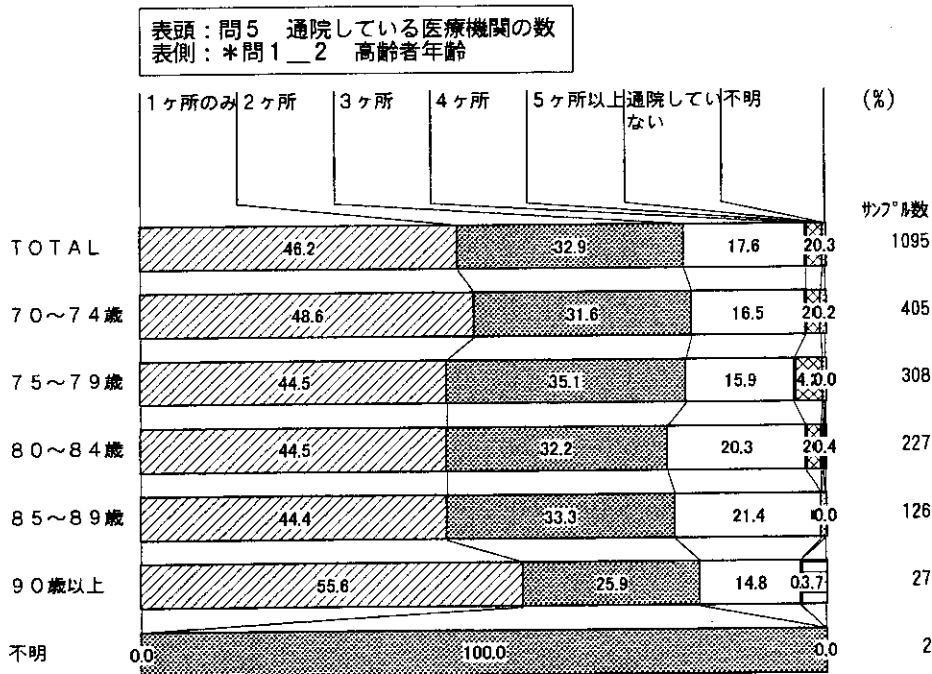
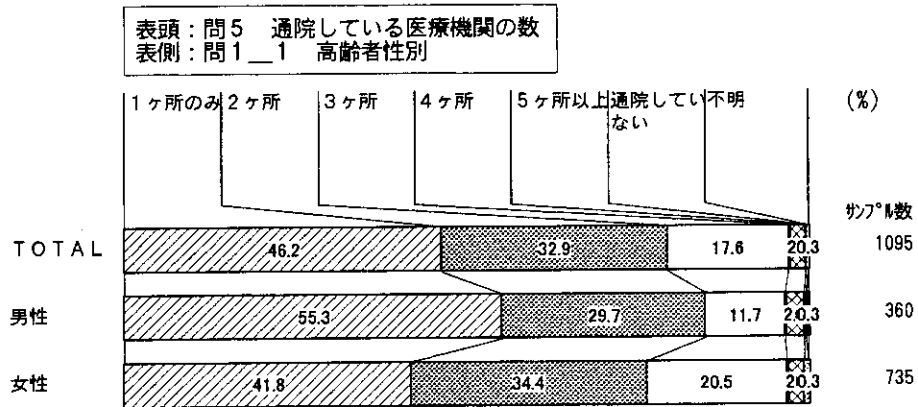
表頭：問4_2 薬の服用状況 (M. A)
表例：問1_1 高齢者性別



表頭：問4_2 薬の服用状況 (M. A)
表例：*問1_2 高齢者年齢

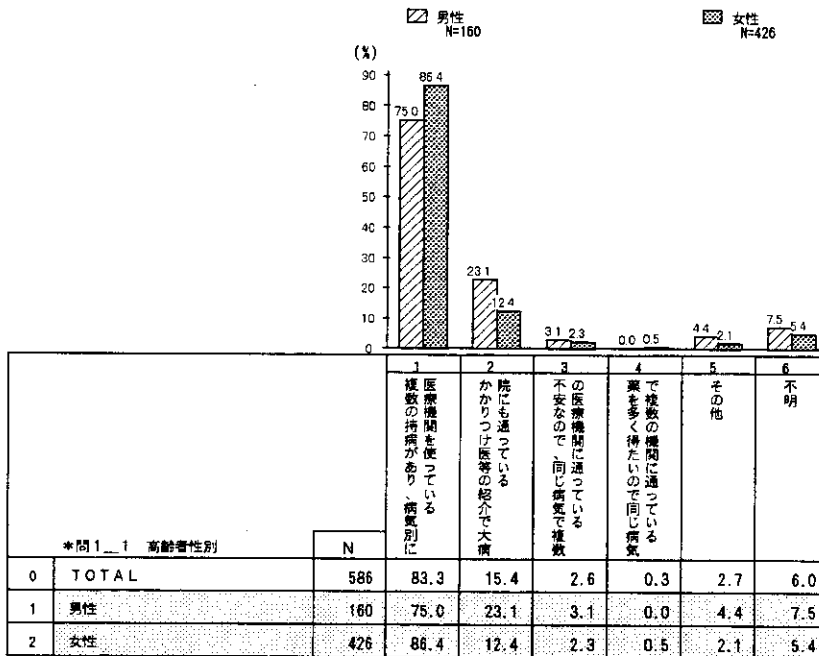


通院している医療機関の数は、3ヶ所以下がほとんどである。性別で個数をみると、女性の方が多。また、年齢別では大きな差はないが、90歳以上は1ヶ所という回答が半数を超えた。

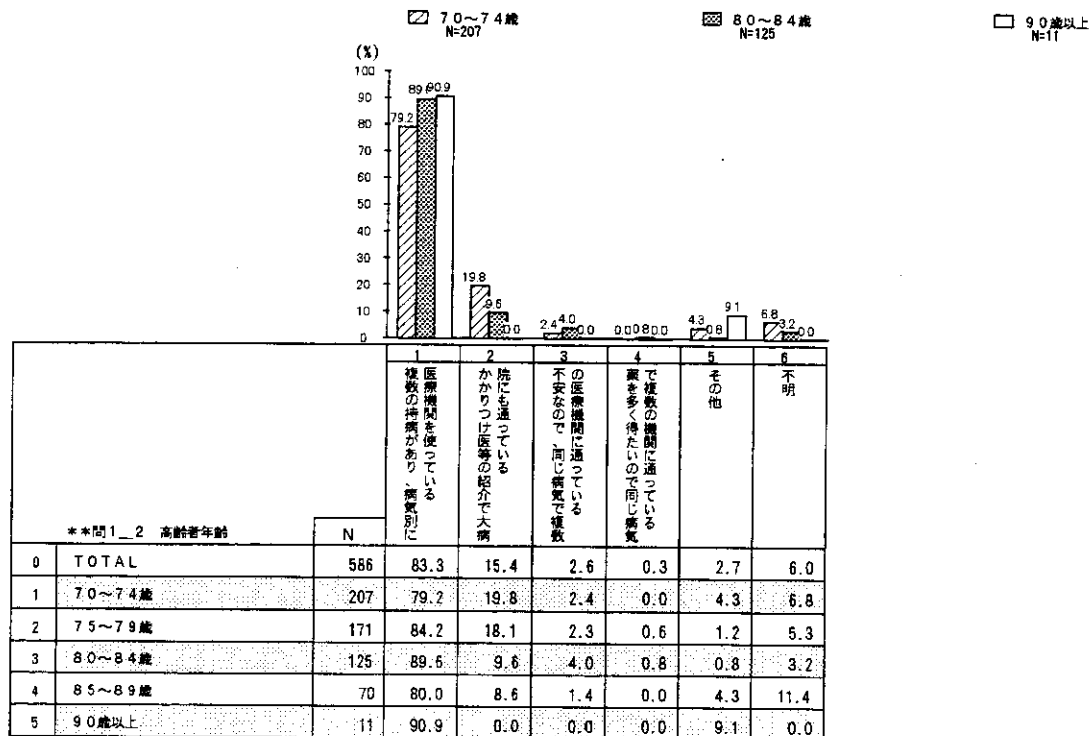


複数の医療機関にかかる理由は、複数の持病があるが圧倒的に多かった。次に多いのは、かかりつけ医の紹介で大病院にも通っているケースで、男性や70代に多い。

表頭：問5_1 複数の医療機関にかかる理由【ベース：複数の医療機関に通っている人】
(M, A)
表例：問1_1 高齢者性別

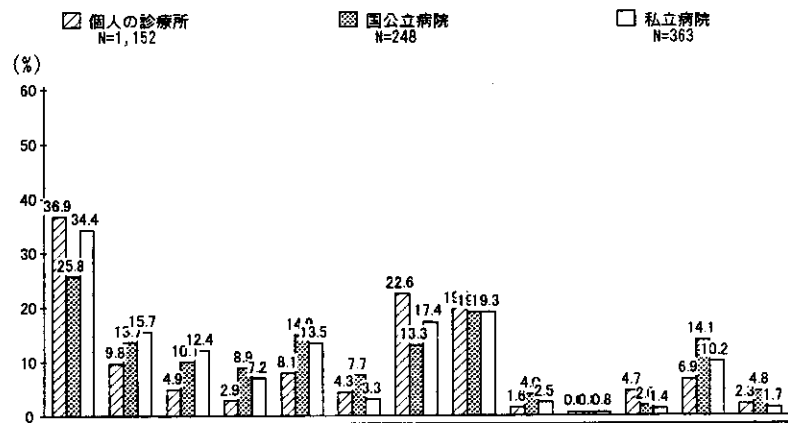


表頭：問5_1 複数の医療機関にかかる理由【ベース：複数の医療機関に通っている人】
(M, A)
表例：*問1_2 高齢者年齢



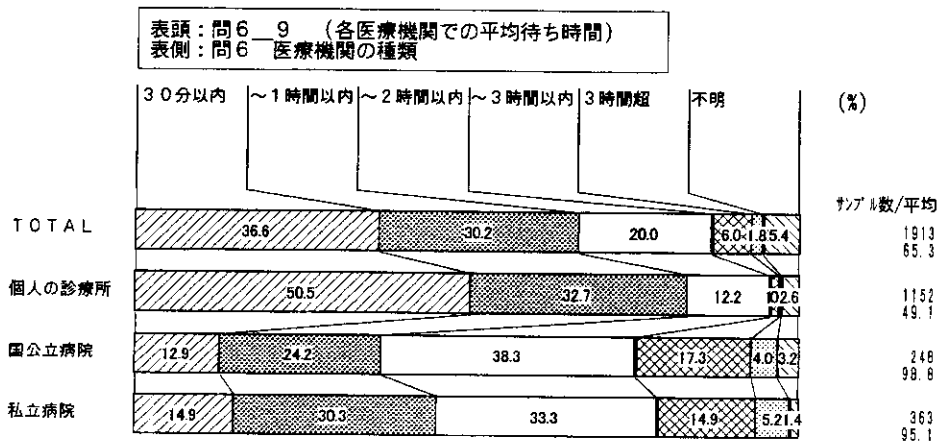
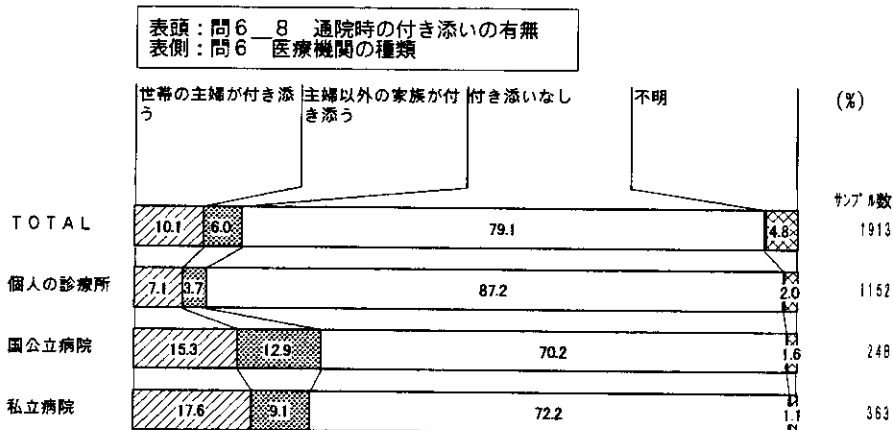
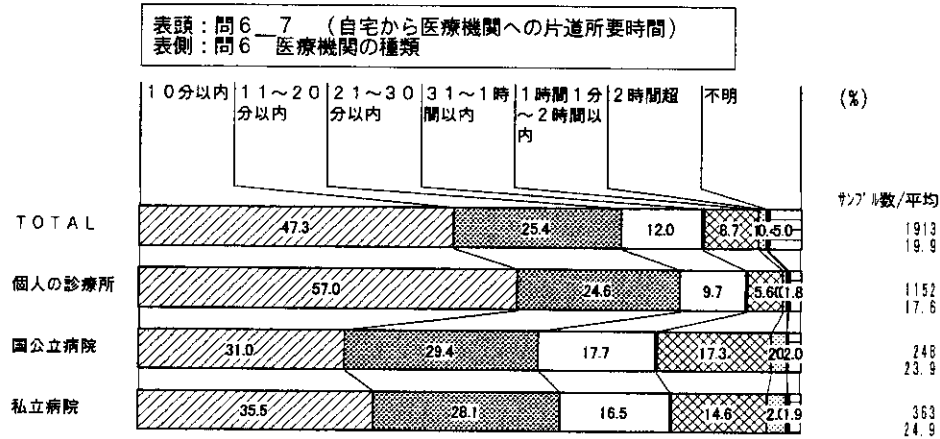
血圧・血管系、腰痛・肩こり・関節炎・リウマチ、眼関係の持病は、個人の診療所を選ぶことが多い。逆に心臓関連、糖尿関連、脳関連、消化器関連の持病は、国公立病院・私立病院がともに多く、呼吸器系関連の持病は、国公立病院が多い。

表頭：問6—4 医療機関別治療している持病 (M. A)
表例：問6 医療機関の種類



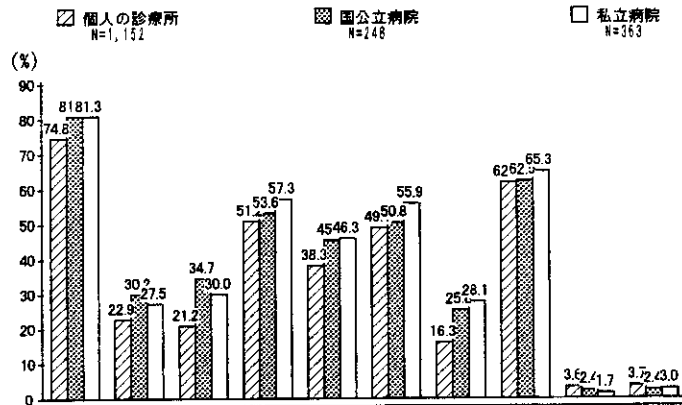
*問6 医療機関の種類		N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			血圧・血管関係の持病	心臓関連の持病	糖尿関連の持病	脳関連の持病	消化器関連の持病	呼吸器系関連の持病	腰痛・肩こり・関節炎・リウマチ	眼関係の持病	じん臓関係の持病	肛門系の持病	歯関係の持病	その他	不明
0	TOTAL	1,913	32.8	11.0	6.8	4.5	9.7	4.3	19.3	19.4	2.0	0.6	4.0	8.3	6.2
1	個人の診療所	1,152	36.9	9.8	4.9	2.9	8.1	4.3	22.6	19.9	1.6	0.6	4.7	6.9	2.3
2	国公立病院	248	25.8	13.7	10.1	8.9	14.9	7.7	13.3	19.4	4.0	0.8	2.0	14.1	4.8
3	私立病院	363	34.4	15.7	12.4	7.2	13.5	3.3	17.4	19.3	2.5	0.8	1.4	10.2	1.7
4	その他	18	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0
5	不明	132	5.3	1.5	0.8	1.5	3.0	1.5	8.3	16.7	0.8	0.0	8.3	3.8	56.1

医療機関別に、自宅からの片道所要時間をみると、個人の診療所は10分以内が半数を超えた。平均では、6~7分程度の差であった。また、付き添いの有無をみると、個人の診療所は他と比べ、付き添いなしのケースが多い。平均待ち時間をみてもこじんの診療所は30分以内で、病院と比べ50分早いという結果である。



各医療機関における説明状況は、全体的に見て診療所よりも病院の方がきちんとした説明がある。特に病名とその内容、病気の重さ、治療方法、薬の副作用では10%以上の差が見られる。

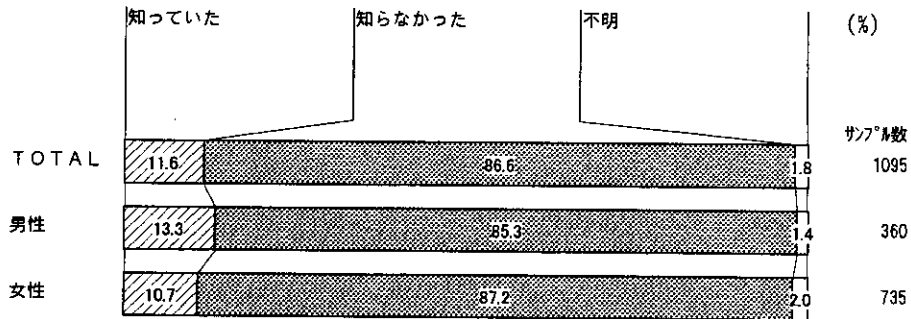
表頭：問6_10 各医療機関における持病についての説明状況 (M. A)
表側：問6 医療機関の種類



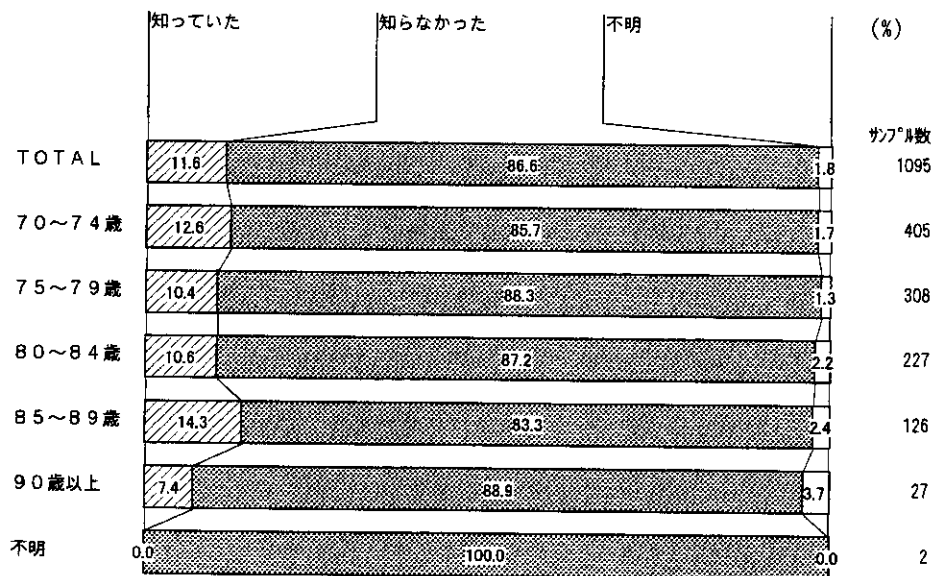
*問6 医療機関の種類		N	1 病名とその内容	2 病気の原因	3 病気の重さ	4 気をつけるべき生活習慣	5 治療方法	6 薬の効能	7 薬の副作用	8 薬の使用法	9 説明はなかった	10 不明
0	TOTAL	1,913	74.1	24.3	24.2	50.9	39.9	49.1	19.4	60.7	2.9	6.5
1	個人の診療所	1,152	74.8	22.9	21.2	51.2	38.3	49.1	16.3	62.2	3.6	3.7
2	国立病院	248	81.0	30.2	34.7	53.6	45.6	50.8	25.8	62.5	2.4	2.4
3	私立病院	363	81.3	27.5	30.0	57.3	46.3	55.9	28.1	65.3	1.7	3.0
4	その他	18	77.8	55.6	44.4	88.9	61.1	66.7	38.9	61.1	0.0	0.0
5	不明	132	34.1	11.4	11.4	20.5	22.7	24.2	7.6	31.1	2.3	49.2

「リビング・ウィル」については、性別・年齢問わず、ほとんどが知らないとの回答であった。

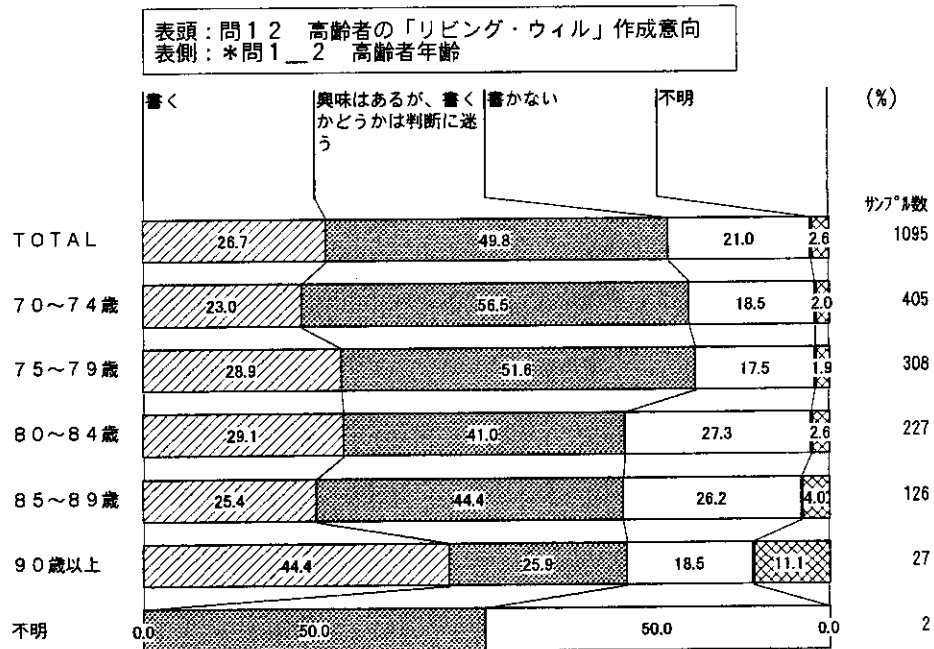
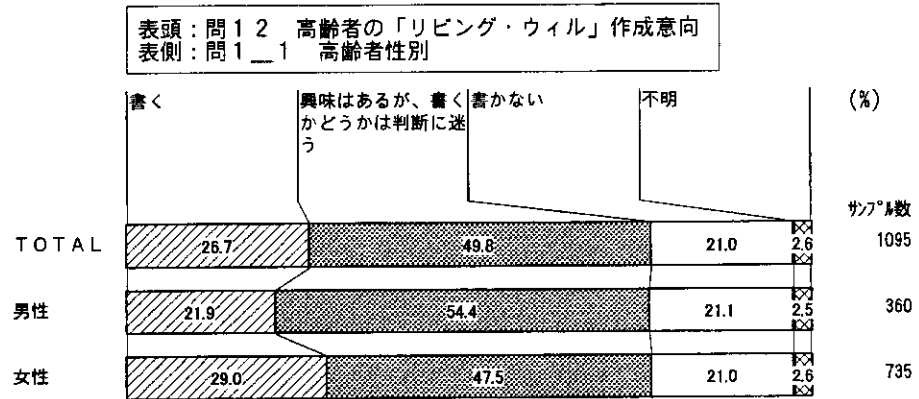
表頭：問1_1 高齢者の「リビング・ウィル」認知度
表側：問1_1 高齢者性別



表頭：問1_1 高齢者の「リビング・ウィル」認知度
表側：*問1_2 高齢者年齢

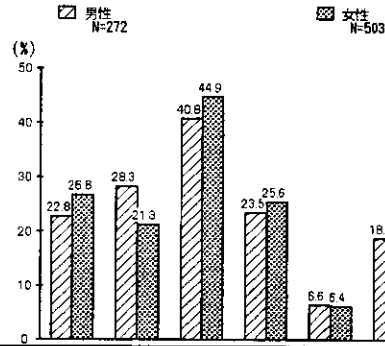


「リビング・ウィル」の作成意向は、女性の方が書くとの回答が多かった。また、年齢層が高くなると、書くという回答が多くなっている。



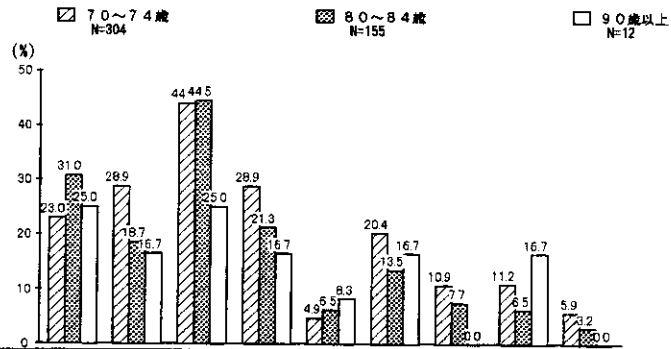
「リビング・ウィル」を書かない理由として、告知されず病状の事前判断が不可能かもしれないからが多い。性別によって大きな差はないが、年齢別ではばらつきが見られる。

表頭：問1_2_1 「リビング・ウィル」非作成理由 (M. A) 【ベース：書くか判断に迷う/書かない人】
表側：問1_1 高齢者性別



*問1_1 高齢者性別		N	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	TOTAL	775	25.4	23.7	43.5	24.9	6.5	20.0	8.9	9.2	4.1
1	男性	272	22.8	28.3	40.8	23.5	6.6	18.8	10.3	12.9	3.7
2	女性	503	26.8	21.3	44.9	25.6	6.4	20.7	8.2	7.2	4.4

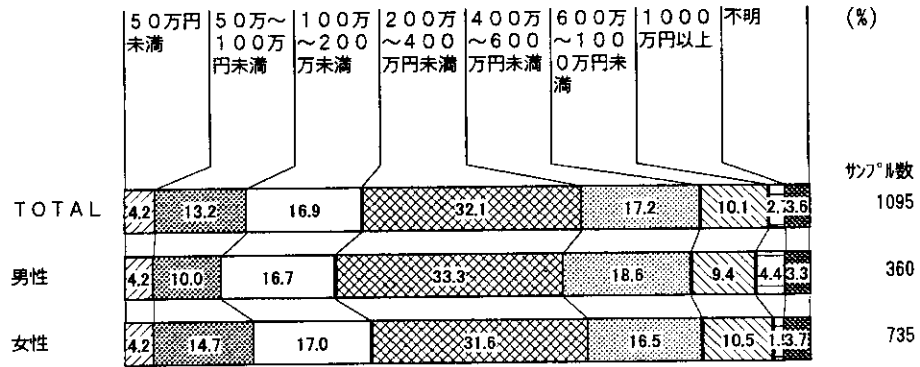
表頭：問1_2_1 「リビング・ウィル」非作成理由 (M. A) 【ベース：書くか判断に迷う/書かない人】
表側：*問1_2 高齢者年齢



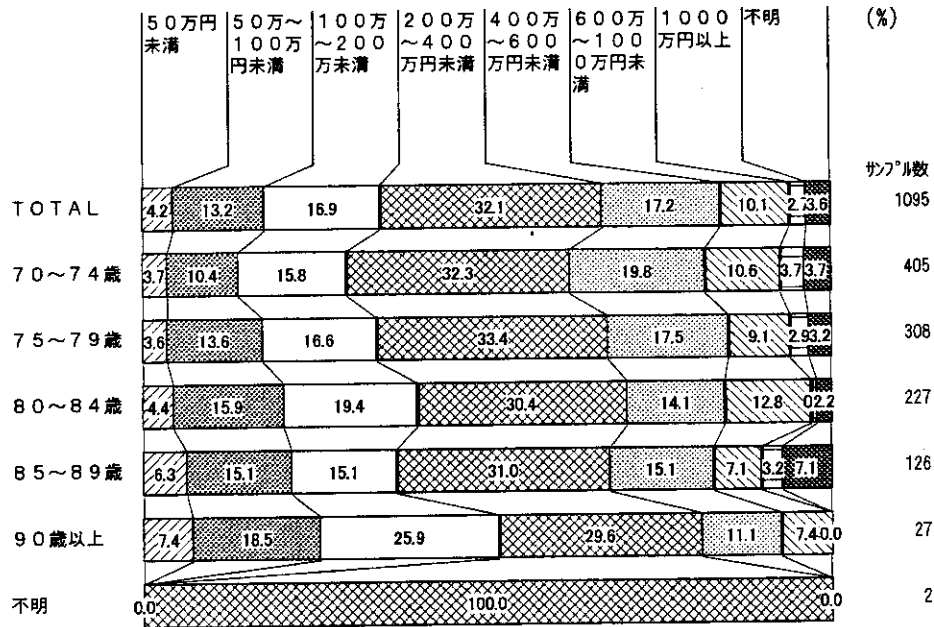
**問1_2 高齢者年齢		N	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	TOTAL	775	25.4	23.7	43.5	24.9	6.5	20.0	8.9	9.2	4.1
1	70~74歳	304	23.0	28.9	44.1	28.9	4.9	20.4	10.9	11.2	5.9
2	75~79歳	213	23.0	23.9	43.7	25.8	7.0	20.2	8.9	8.5	2.3
3	80~84歳	155	31.0	18.7	44.5	21.3	6.5	13.5	7.7	6.5	3.2
4	85~89歳	89	30.3	15.7	42.7	16.9	10.1	29.2	5.6	7.9	3.4
5	90歳以上	12	25.0	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0

終末期医療費の予想額は、女性の方が少なめに見積もっている。また、年齢層が高くなるほど、予想額は少なくなっている。

表頭：問13 終末期医療費予想額
表側：問1_1 高齢者性別

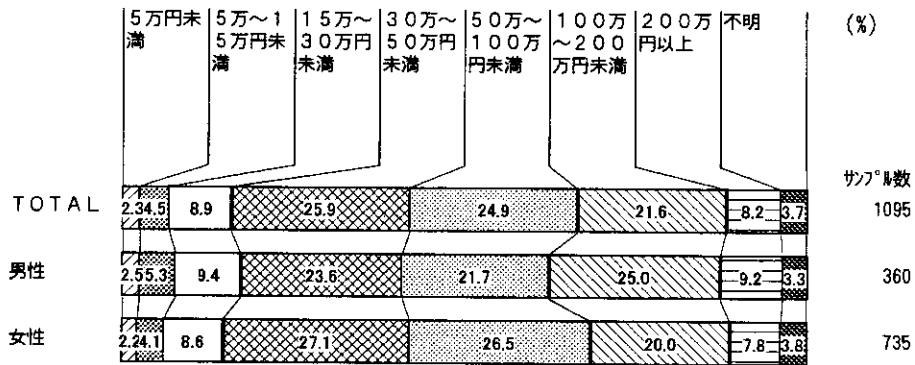


表頭：問13 終末期医療費予想額
表側：*問1_2 高齢者年齢

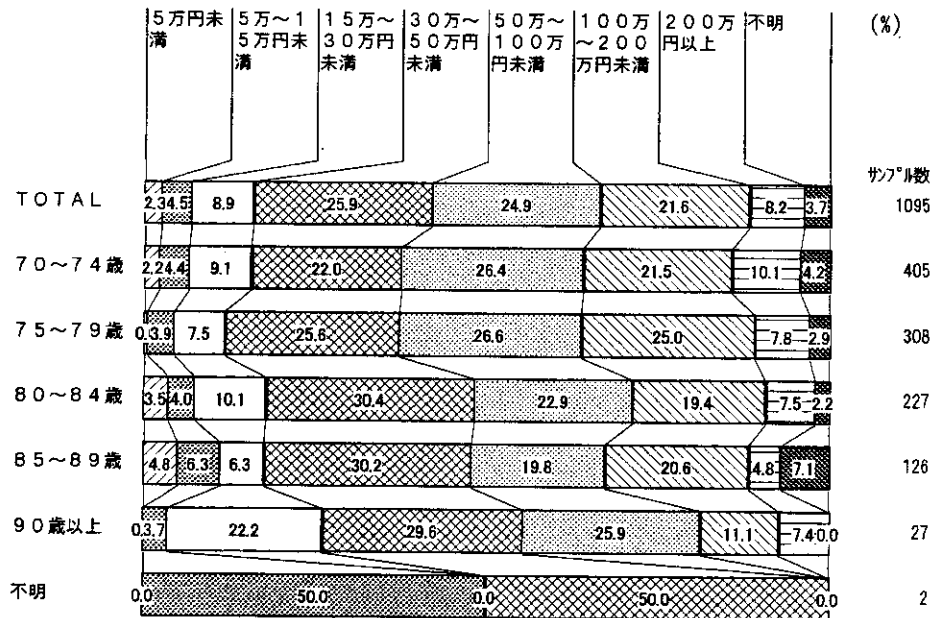


終末期医療費の自己負担の予想額は、男性と女性で大きな差は見られない。年齢別にみると、年齢層が高くなるほど自己負担予想額は少なくなる。

表頭：問13_1 終末期医療費の自己負担予想額
表側：問1_1 高齢者性別

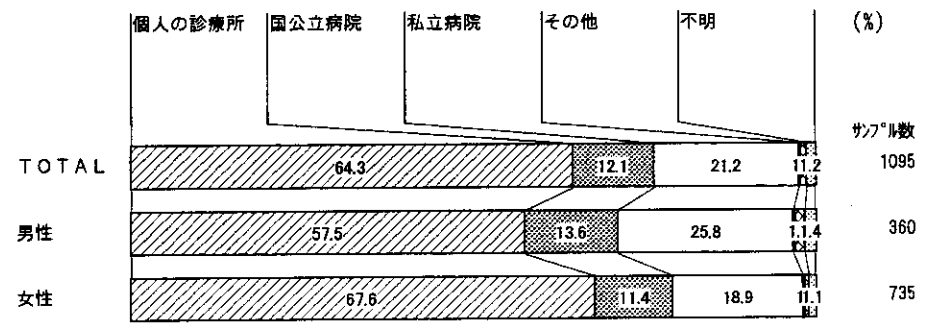


表頭：問13_1 終末期医療費の自己負担予想額
表側：*問1_2 高齢者年齢

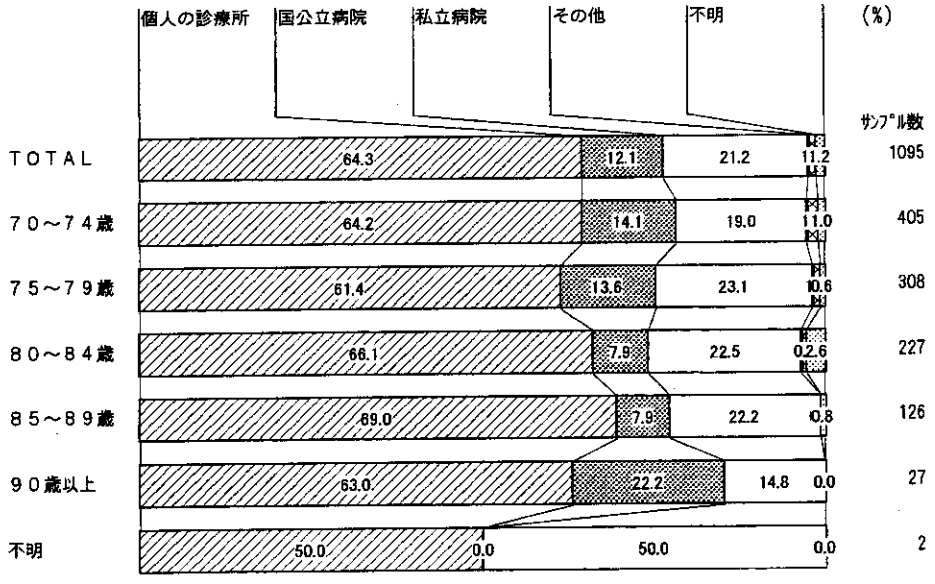


かかりつけの医療機関は個人の診療所が多いが、性別で見ると女性の方が個人の診療所を選ぶ割合が多い。年齢別では、大まかに言えば年齢層が高くなるほど個人の診療所を選んでいる。しかし、90歳以上では個人の診療所が少なくなり、国公立病院の割合がかなり増えている。

表頭：問6 医療機関の種類 かかりつけの医療機関
表側：問1_1 高齢者性別



表頭：問6 医療機関の種類 かかりつけの医療機関
表側：*問1_2 高齢者年齢



このアンケートは、「通院中の持病を持つ高齢者の方」と同居のご家族の方（主婦の方）に回答をお願いします。ただし、質問によっては、高齢者の方とご相談しながら、お答えください。
 * 通院中の持病を持つ高齢者が複数いらっしゃる場合は、より通院回数の多い方についてお答えください。

問1. ご家族の中で、通院中の持病を持っている高齢者の方は、どなたですか。（〇はひとつ）

1 あなた自身の親	3 配偶者（ご主人）
2 配偶者の親	4 その他（具体的に ）

付問1. 持病を持つ高齢者の方の性別はどちらですか。（〇はひとつ）

1 男性	2 女性
------	------

付問2. 持病を持つ高齢者の方はおいくつですか。

	歳
--	---

付問3. 高齢者の方は介護認定を受けていますか。（〇はひとつ）

1 受けている	2 受けていない	3 認定を申請中
---------	----------	----------

高齢者の方の持病内容についてお伺いします。

問2. 高齢者の方の持病は何ですか。（〇はいくつでも）

付問1. また、その持病はいつ頃から始まりましたか。始まった年齢をお答えください。

	持病		始まった年齢
高血圧・動脈硬化などの血圧・血管関係の持病	1	→	歳から
狭心症などの心臓関連の持病	2	→	歳から
糖尿病などの糖尿関連の持病	3	→	歳から
脳梗塞・くも膜下出血などの脳関連の持病	4	→	歳から
慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの消化器系関連の持病	5	→	歳から
ぜん息、慢性気管支炎などの呼吸器系関連の持病	6	→	歳から
腰痛や肩こり・関節炎・リウマチなどの持病	7	→	歳から
緑内障・白内障などの眼関係の持病	8	→	歳から
腎臓病、腎不全などのじん臓関係の持病	9	→	歳から
いぼ痔、切れ痔などの肛門系の持病	10	→	歳から
持病は特にない	11	⇒	P9問11へ

問3. 高齢者の方が、最近1ヶ月間に通院で支払った医療費（自己負担分）はおよそいくらですか。

支払った医療費は、1ヶ月で

--

 円くらい

問4. 現在出ている薬の種類は全部で何種類ぐらいありますか。

その中で、高齢者の方が、①名前を認識している薬、②効能がわかる薬（何に効くかなど）、③副作用がある薬（副作用があるかどうか程度でよい）はそれぞれ何種類ですか。

現在出ている薬は 種類ぐらい

そのうち、①名前がわかるのは、 種類ぐらい

そのうち、②効能がわかるのは、 種類ぐらい

そのうち、③副作用がわかるのは、 種類ぐらい

付問1. それらの薬はどのように服用していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 毎日決まった時間帯に決まった量だけ服用 | 4 決められた時間帯を無視しがち |
| 2 一部に服用しない薬がある | 5 ほとんど服用していない |
| 3 勝手に服用する量を減らしている | |

問5. 現在、通院されている医療機関は、何ヶ所ありますか。（○はひとつ）

- | | | |
|---------|-------|---------------------|
| 1 1ヶ所のみ | 3 3ヶ所 | 5 5ヶ所以上 |
| 2 2ヶ所 | 4 4ヶ所 | 6 通院していない →9ページ問11へ |

付問1. 複数の医療機関に通われている方に伺います。複数の医療機関にかかる理由は次のどれにあたりますか。（○はいくつでも）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 複数の持病があり、病気別に医療機関を使っている |
| 2 かかりつけ医等の紹介で大病院にも通っている |
| 3 一つでは診察に不安があるので、同じ病気で複数の医療機関に通っている |
| 4 薬を多く得たいので、同じ病気で複数の医療機関に通っている |
| 5 その他（具体的に _____） |

高齢者の方が通院されている医療機関についてお伺いします

問6. 高齢者の方が通われている「医療機関」の種類は次のどれにあたりますか。

複数の医療機関に通院されている方は、②～③についてもご記入下さい。

もし、すぐにわからない場合には、医療機関の「診察券」をご覧ください。

通院している医療機関の種類：(○はそれぞれひとつずつ)

	個人の診療所(普通の町医者)	国公立大学病院	私立大学病院	日赤病院	済生会病院	県立病院	都立・府立・道立病院	市立病院	町立・村立病院	市民病院	町民・村民病院	医療法人(社団)	公益法人	財団法人	国保病院	国立病院	健康保険組合病院	共済組合病院	その他(具体的に)
①かかりつけの医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19()
②2番目によく通う医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19()
③3番目によく通う医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19()

※「かかりつけの医療機関」(複数の医療機関に通う方は、うち最も通院回数が多い医療機関)

②～③は、複数の医療機関に通院されている方のみご記入下さい(通院医療機関が1つならば記入不要)

【上の表中の「2」～「18」の病院に通院している方へ】

* 通院している医療機関が個人の診療所のみの方は、付問2へおすすみください

付問1. それぞれの医療機関の正式な名称をご記入下さい。(個人の診療所は記入不要)

(例 医療法人社団聖進会 市川東病院、 民医連 船橋二和病院 など)

医療機関名：

①かかりつけの医療機関 →	
②2番目によく通う医療機関 →	
③3番目によく通う医療機関 →	

【全員の方へ】

付問2. 通院している医療機関の診療科をそれぞれお答えください。

通院している診療科：(○はそれぞれいくつでも)

	内科	外科	整形外科・形成外科	(産婦人科)	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	肛門科	呼吸器科	消化器科	循環器科	精神科	神経科	歯科	接骨・整骨・整体院	その他(具体的に)
①かかりつけの医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16()
②2番目によく通う医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16()
③3番目によく通う医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16()

②～③は、複数の医療機関に通院されている方のみご記入下さい(通院医療機関が1つならば記入不要)

付問3. それぞれの医療機関へは、月に何回くらい通院されていますか。通院回数をお答えください。

*2ヶ月に1度の場合には「0.5」回、3ヶ月に1度の場合には「0.3」回とご記入下さい。

通院回数：

①かかりつけの医療機関 →	月に	<input type="text"/>	回くらい
②2番目によく通う医療機関 →	月に	<input type="text"/>	回くらい
③3番目によく通う医療機関 →	月に	<input type="text"/>	回くらい

付問4. それぞれの医療機関へは、どのような病気で通っていますか。具体的な病名を全てご記入下さい。

医療機関別治療している持病：(○はそれぞれいくつでも)

	血圧・血管関係の持病	心臓関連の持病	糖尿関連の持病	脳関連の持病	消化器系関連の持病	呼吸器系関連の持病	腰痛・肩こり・関節炎・リウマチ	眼関係の持病	じん臓関係の持病	肛門系の持病	歯関係の持病	その他(具体的に)
①かかりつけの医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12()
②2番目によく通う医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12()
③3番目によく通う医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12()